

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2763 号

Comorbid alpha synucleinopathies in idiopathic normal pressure hydrocephalus

正常圧水頭症にシヌクレインノパチーは合併する

櫻井 安莉 (さくらい あんり)

博士 (医学)

論文内容の要旨

この研究は、特発性正常圧水頭症 (idiopathic normal pressure hydrocephalus, iNPH) におけるシヌクレインノパチーである、パーキンソン病 (Parkinson's disease, PD) とパーキンソン病に伴う認知症 (PD dementia, PDD) またはレビー小体型認知症 (dementia with Lewy bodies, DLB) の診断方法や合併率、臨床的特徴を明らかにすることを目的としている。過去 10 年間に順天堂大学医学部神経内科に入院した iNPH 患者を対象とした後ろ向き研究を行った。運動症状は Movement Disorder Society 主催の Unified Parkinson's Disease Rating Scale (MDS-UPDRS) part 3 で評価した。123I-iofupane single-photon emission computed tomography (DaT-SPECT) および脳脊髄液の Real time quaking-induced conversion (RT-QuIC) 試験においてシヌクレインノパチーの合併を調査した。結果として、79 人の患者が iNPH の基準を満たし、そのうち 34 人が合併症のない iNPH (iNPH alone, iNPHa ; 43%)、PD/PDD 合併 iNPH が 23 例 (iNPH comorbid PD/PDD, iNPHc+PD/PDD ; 29.1%)、DLB 合併 iNPH は 8 例 (iNPH comorbid DLB, iNPHc+DLB ; 10.1%) であった。仮面様顔貌と上肢パーキンソンニズムは、iNPHa と iNPHc+PD/PDD の間で有意差を認めた ($p=0.03$, $p<0.01$)。DaT-SPECT の特異的結合比 (specific binding ratio, SBR) は iNPHa で優位に低下し ($p=0.02$)、iNPHc+PD/PDD ($p<0.01$) と iNPHc+DLB ($p<0.01$) では SBR はさらに優位に低下した。脳脊髄液 RT-QuIC は iNPHc+PD/PDD、iNPHc+DLB で全例陽性であったが iNPHa では全例陰性であった。以上の結果よりシヌクレインノパチーは iNPH に合併することが証明され、それは DaT-SPECT の SBR 値と RT-QuIC により合併の診断が可能である。